



から 21



アイシングクッキー教室を 開催しました

ワーク・ライフ・バランス講座

令和3年12月11日(土) 開催

講師*中村 美智 氏

(JSAアイシングクッキー認定講師)

親子10組24名の方が参加されました

特集

家事は 家族みんなでシェアしよう！



「家事」というと、主として掃除・洗濯・料理・育児などがあげられますね。

家事を夫婦で分担して行っている家庭も多いかと思います。

しかし、これまで家事をあまりしていない人にとって、これらの項目の分担は負担になったり、不平等感を感じたり、長続きしなかったりして、「やらされている」といったイメージもあったように思います。中には最初から「できないから」「奥さんがするものだと思っているから」などと、家事をすることを気にも留めていない人も。

こうした決められた人が決められたことだけを行う「家事分担」ではなく、家族全員が家事全体を共有し、「その時にやれる人がやる」というスタンスの「家事シェア」という考え方が広まってきています。どうすれば家族みんなでシェアできるのか考えてみましょう。



家事とは、生活するために誰かがしなくてはいけないこと。

一人にお任せでいいわけがありません。

家事の中には名前さえ付けられないような些細な家事がより多く存在します。これらが「名もなき家事」といわれていて、最近では、テレビなどでもよく取り上げられています。

この「名もなき家事」を家族みんなでシェアすることから始めてみませんか。
ひとりひとり、きっと何かできることがあるはずです。

俺にもできること
あるかな…



まず、自分の家の「名もなき家事」を書き出してみましょう



- ・朝、窓を開ける
- ・新聞を取りに行く
- ・洗った食器をかたづける
- ・ペットにえさを与える
- ・花壇に水をやる
- ・ゴミを出す、仕分け分別する
- ・回覧板を持っていく
- ・子どもの送り迎え
- ・つけっぱなしの電気を消す
- ・食事時の箸やコップの準備
- ・家族のスケジュールの管理
- ・寝る前のリビングの整理
- ・宅配便の受け取り
- ・洗面所の鏡を拭く
- ・ポストの確認
- ・タオルの交換
- ・留守番メッセージを聞く
- ・シーツの交換
- など

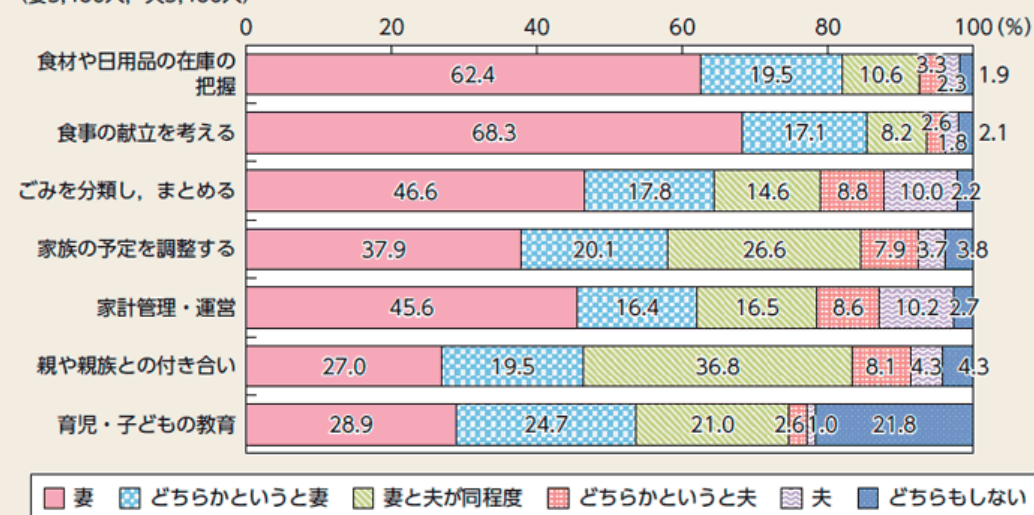


名もなき家事、パッと見れば大したことない家事ばかり！でも一人でやっているとストレスがたまりがちです。

みんなが家事に参加することで暮らしにゆとりが出るはず！

回答者計=10,972人
(妻5,486人、夫5,486人)

家事・家庭のマネジメントの分担（夫婦回答計）



(備考) 1. 「家事等と仕事のバランスに関する調査」(令和元年度内閣府委託調査・株式会社リベルタス・コンサルティング)より作成。
2. 夫婦それぞれに「(各項目について) あなた方ご夫婦の間で、次のようなことを行うのはどちらですか。」と質問し、図に掲げた選択肢で回答を得たもの。

(出典：令和2年版男女共同参画白書)



生まれたばかりの弟にミルクあげる朔君。
「母さん、今のうちにお風呂に入っておいで～」と家事シェアに一役！
朔君はこの時5歳で、双子の弟、3歳の妹、生まれたばかりの弟の4人兄弟です。

こんなところから家事シェアの意識が始まるのかもしれないね



ひとりで家事をしていると、「自分だけがやっている」とか「やらされている」という感覚になることがあります。でもシェアしている時は、話をしたり楽しみながら家事ができます。



仕事から急いで帰宅すると夫が洗濯物をたたんでいた。「ごめんなさい」というと「なぜごめんなさいっていうの？ありがとうって言えばいいんだよ」と言われた。謝るより感謝が私たち夫婦は大切です。

最近は、習い事の送迎をする父親も多く見られるようになったと思います。家庭での、女の仕事・男の仕事、という線引きはもう薄れてきているなと感じます。

育児は随分両親に助けてもらいました。そんな両親も 80 代となりましたが、二人で協力して家事をこなし、朗らかに暮らす姿を心から尊敬しています。

子どもの病気で休みが必要となった時、当たり前のように、母親である私が休みを取ることとなり、自分の職場にばかり迷惑をかけてしまう申し訳なさと、夫の職場に比べ、自分の職場が軽んじられているような腹立たしさで、いつもモヤモヤしていましたが、最近は、子どもの病気で男性が休みを取ることも、ごく当たり前のこととなってきたことに時代の変化を感じています。

日々当たり前のようにこなしている家事でも、誰でも褒められたり、「ありがとう」と言ってもらえたりすると嬉しいものではないでしょうか。見ていないところでやってくれていることには、なかなか気付かないこともあります。自分も家事をやっているのだから、相手もやって当然と思わずに、互いに感謝の気持ちを持って、それをきちんと伝えることが大事なのかなと思います。



夫が食器を洗ってくれたことに気付かずにいると、「何か変わってない？」と冗談で聞いてきます。いつも手際よくこなしてくれていることに感謝しています。

夫が退職後、少しずつ家事をするようになりました。特に洗濯干しを積極的に行っています。干し方は、長年主婦業を行う身としては、言いたいことは沢山ありますが、そこには触れず「いつもありがとう」を伝えています。

ほとんど家事をやらせずに育てた息子が、一人暮らしを始め、職場に自分で作ったお弁当を持っていっているとのこと。親からすると大変な驚きですが、「お弁当なんて作るはずがない」と思うのも、親の勝手な偏見なのかも。今の若者は、想像以上に、柔軟で軽やかに家事を受け入れているようです。



お小遣いが少なくなった夫は時々清掃業者になる。値段は交渉次第。お風呂とかトイレ、キッチンの清掃をしてもらう。「汚れが残っていますよ」とか、業者なので苦情も OK。そして夫が稼いだ給料から清掃料金は支払われる。



我が家のエピソード

やる気になった言葉



きれいになってる!
さすがだねえ

やる気がなくなった言葉





岩国市消防団玖珂方面隊 「さくら分団」



さくら分団は、岩国市消防団初の女性分団です。
2018年10月1日に6人の団員で結成されました。
現在、11名で活動しています。

活動内容

火災現場での後方支援や行方不明者の捜索といった災害時対応と、平常時に行う消防器具の点検作業や防災に関する啓発活動、また消防技術を競う場となる岩国地区消防操法大会への参加に向けた訓練など、多岐にわたる活動を行っています。



幅広い年齢層で、役割分担

団員は、学生や子育て中の母親、それから親子など幅広い年代が所属していることから、それぞれの強みに合わせた役割分担ができています。行方不明者の捜索時に、最近まで通学路として通っていた小道を捜索できるのは若い団員ならではのし、これまでの経験により危険を予測し指示できるのは、年長者のなせる業です。

また、親子で活動している団員については、母親が仕事等で手が離せず、団員への指示連絡ができないときは、娘が代わって連絡作業を行うなど、親子としての利点も生かしています。

出動に関しては、「その時に出来る者が出る」というスタンスで活動していますが、何をしている時でも、「とにかく出動する」という意識を常に持っています。「ケガなく、事故なく」ということを心掛けており、現場に出た際に自身の不調で迷惑をかけることがないように、日頃から健康管理に努めています。

また、経験には多くの学びがあることから、実際の現場に出動できる機会を大切にしています。



消防団に入ってよかったこと

消防団員の苦勞を知ることができたことです。マンホールや消火栓の位置、あるいは川の水量など、これまでは気づかなかった視点で、地域を見るようになりました。また有事の際、交通整理を行います。ちょっとしたマナーの差が誘導に大きく影響することに気付かされました。まずは、自身の運転マナーを省みて、細心の注意を払いながらハンドルを握っています。

その他、学生団員にとっては、消防団の活動で得た知識が、地域課題の分析など学校の授業で役立つこともあります。



訓練の様子



これからの活動について

災害が発生した際の被災者へのメンタル的な支援は、女性団員の方が向いているのかなと思います。

特に、障がい者や高齢者の方はもちろん、子どもたちの支えになればと思いながら活動しています。

また、その一方で、消防団員の数が減っていることから、女性だけでなく、男性にも消防団に入って地域を盛り上げてほしいと思います。女性だから、男性だからということではなく、やる気さえあれば、何でもできるはず。持っている味はみんな違うのだから、出会いやつながりを大切に、これからもよりよい地域づくりができればと考えています。

令和3年度 岩国市男女共同参画川柳入賞者発表

《一般の部》と《学生の部》を合わせて1474作品の応募があり、厳正なる審査の結果、入選作品が決定しました。

今年度は、学生の部に、小学生から高校生まで多数の作品をお寄せいただき、若い世代が男女共同参画に対して高い意識を持っていることを感じました。

ご応募いただきました皆様、誠にありがとうございました。

一般の部

最優秀賞

優秀賞

入選

我が家では「手伝うよ」じゃなく ボクやるよ
ありがとう 言われて家事が 上手くなり
家事育児 皆で協力 皆笑顔
おままごと 父親役が 育児する
多様性 カジメンイクメン 土木女子

ヘンネーム テニスの王子様
重永 光治
ヘンネーム ころわん
平岡 明子
ヘンネーム エプロンパパ

小学生の部

最優秀賞

優秀賞

入選

めちや映える！ おとうさん作 昼ごはん
やってみて 互いの苦労 分かりあう
お互いに 感謝の言葉 飛びかうよ
妹の オムツ替えてる 父笑顔
参観日 父さん来る日が 増えたらな

麻里布小六年 荒川 明日香
ヘンネーム スヌーピー
ヘンネーム 全国3位ツバメ
ヘンネーム ペンギン
ヘンネーム シーガルズ

中学生の部

最優秀賞

優秀賞

入選

お父さん 仕事と家事の 二刀流
性別で できるできない 決めないで
目指すのは 互いの個性の 認め合い
父と母 二人三脚 家事育児
なによりも 自分らしさを 大切に

高水中一年 杉原 蒼衣
川下中二年 吉岡 杏奈
美和中三年 中川 美優
麻里布中一年 落合 サラ
岩国中三年 野村 大翔

高校生の部

最優秀賞

優秀賞

入選

君の「個性」 世界に一つの 宝箱
カラフルな みんなの色を 大切に
男女より その人らしさを 見てみよう
家事分担 そこでうまれる 家族愛
何よりも 大切なのは 君らしさ

岩国高一年 正司 靖子
岩国高一年 國時 由依
ヘンネーム ムキムキマン
ヘンネーム とあ
岩国高二年 菱田 唯衣

(敬称略)



編集後記

「家事シェア」を特集しましたが、「名もなき家事」がこんなにたくさんあることに驚かされました。
「若者ことば」のように聞こえる「家事シェア」ですが、若い人だけではなく、すべての世代に広がって
くれればと思います。

編集委員一同